

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 東祥

コード番号 8920 URL <http://www.to-sho.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 沓名 俊裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 桑添 直哉

TEL 0566-79-3111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	7,922	△4.1	1,750	3.0	1,538	3.8	859	6.1
21年3月期第3四半期	8,259	—	1,700	—	1,481	—	809	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	51.47	—
21年3月期第3四半期	49.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	25,745	6,253	24.3	355.46
21年3月期	26,191	5,047	19.3	304.20

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 6,252百万円 21年3月期 5,047百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	5.5	2,630	17.5	2,300	17.7	1,200	10.3	70.93

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

1株当たり当期純利益予想につきましては、平成21年12月3日付の公募増資に伴う新株発行(1,000,000株)を考慮し、平成21年5月11日に公表した数値を補正しております。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	17,592,351株	21年3月期	16,592,351株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,599株	21年3月期	1,335株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	16,696,337株	21年3月期第3四半期	16,528,122株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年3月期の業績予想は、「平成21年3月期決算短信(非連結)」(平成21年5月11日付)において公表した金額より変更しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動は一定の持ち直し感はあるものの、雇用情勢については、有効求人倍率が過去最低水準にあるなど、今後も個人消費に与える影響は大きく、先行きの不透明感は増大しております。

こうした経済環境の中で、スポーツクラブ事業につきましては、個人消費低迷の影響を受けながらも、『健康』に対する消費者の意識、ニーズ等に着実に対応した結果、当第3四半期末での既存店の会員数は前年同時期比2.3%の減少に留まりました。収益面においては、エコ対策も含めエネルギー使用量の低減、コスト意識を高めるなど経費削減に努めました。

ホテル事業につきましては、朝夕食の無料サービスの充実、顧客層拡大のためにツインルームへの改装を実施したものの、企業の経費削減傾向の影響は大きく、稼働率は前年同四半期を下回りました。

不動産事業におきましては、賃貸マンション「A・C i t y」が2棟竣工したものの、前期に利益率の低い請負事業を廃止したことにより売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,922百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益1,750百万円（同3.0%増）、経常利益1,538百万円（同3.8%増）、四半期純利益では859百万円（同6.1%増）となりました。

利益率に関しましては、コスト削減効果により営業利益率22.1%（同1.5ポイント増）、経常利益率19.4%（同1.5ポイント増）、四半期純利益率10.8%（同1.0ポイント増）となりました。

なお、事業別の業績は次のとおりであります。

(1) スポーツクラブ事業

スポーツクラブ事業におきましては、既存店での会員数の減少はあったものの、前期に開業した3店舗の増収効果により、売上高は6,183百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

(2) ホテル事業

ホテル事業におきましては、企業の経費削減傾向は依然強く、平成21年7月に顧客層としてファミリー層を取り込むため「ABホテル三河安城本館」の客室リニューアル期間営業を中止したこともあり、売上高は553百万円（同27.5%減）となりました。

(3) 不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸マンション「A・C i t y」が2棟竣工、賃貸マンションの販売が1棟あったものの、前期に利益率の低い請負事業を廃止した影響もあり、売上高は1,185百万円（同14.3%減）となりました。

（単位：百万円）

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減比（%）
スポーツクラブ事業	6,183	6,113	70	1.2
ホテル事業	553	763	△210	△27.5
不動産事業	1,185	1,382	△197	△14.3
合 計	7,922	8,259	△337	△4.1

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第3四半期末の総資産は25,745百万円となり、前事業年度末と比較し445百万円減少いたしました。

主な要因は、売上債権414百万円の増加、売却による土地の減少270百万円、減価償却累計額930百万円の増加によるものであります。

負債総額は19,491百万円となり、前事業年度末と比較し1,651百万円減少いたしました。

主な要因は、未払法人税の減少221百万円、長期借入金1,292百万円の減少によるものであります。

純資産総額は6,253百万円となり、前事業年度末と比較して1,205百万円増加いたしました。

主な要因は、平成21年12月3日に公募増資による資本金256百万円、資本準備金256百万円の増加及び利益剰余金の増加によるものであります。公募増資を実施したことにより、自己資本比率は前事業年度末比べ5.0ポイント増の24.3%となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における当社のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動における収入が1,090百万円あった一方、投資活動による支出が146百万円及び財務活動における支出が1,017百万円あった結果、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、73百万円減少し、1,630百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,090百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益1,537百万円及び減価償却費が976百万円あった一方、売上債権の増加が414百万円、法人税等の支払いが867百万円あったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、146百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が463百万円あった一方、有形固定資産の売却による収入が252百万円、定期預金の払戻による収入が100百万円あったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,017百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が2,660百万円あった一方、長期借入れによる収入が1,650百万円あったためであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、発表日現在のスポーツクラブ事業、ホテル事業及び不動産事業の状況を総合的に勘案し、平成21年5月11日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

なお、第4四半期会計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）においては、平成22年2月にオープン予定の「ホリデイスportsクラブ旭川」の売上高（収入）及び開発諸経費（支出）を見込んでおります。

業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び仮定等に基づいて算定しております。今後の経済情勢、当社事業の運営状況の変化等様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している固定資産につきましては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,652,601	1,817,438
売掛金	14,439	21,932
営業未収入金	478,437	56,356
商品	5,104	819
貯蔵品	13,746	11,644
繰延税金資産	41,073	78,848
その他	194,341	240,391
貸倒引当金	△520	△120
流動資産合計	2,399,224	2,227,310
固定資産		
有形固定資産		
建物	21,383,866	20,745,172
減価償却累計額	△5,090,879	△4,348,427
建物(純額)	16,292,986	16,396,745
構築物	1,488,422	1,443,540
減価償却累計額	△776,426	△673,491
構築物(純額)	711,995	770,048
機械及び装置	339,874	302,070
減価償却累計額	△132,302	△100,291
機械及び装置(純額)	207,572	201,778
車両運搬具	35,173	41,274
減価償却累計額	△17,683	△21,329
車両運搬具(純額)	17,490	19,944
工具、器具及び備品	518,639	505,744
減価償却累計額	△341,025	△284,707
工具、器具及び備品(純額)	177,613	221,036
土地	3,336,290	3,606,407
リース資産	147,372	98,392
減価償却累計額	△27,725	△4,325
リース資産(純額)	119,646	94,066
建設仮勘定	243,247	485,871
有形固定資産合計	21,106,842	21,795,899
無形固定資産	31,529	31,603
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,138,139	1,133,797
繰延税金資産	347,569	333,731
その他	691,576	639,111
貸倒引当金	△5,390	△5,410
投資その他の資産合計	2,171,894	2,101,229
固定資産合計	23,310,265	23,928,732
繰延資産		
株式交付費	6,110	—
社債発行費	30,076	35,489
繰延資産合計	36,186	35,489
資産合計	25,745,677	26,191,533

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,129	3,221
短期借入金	2,607,834	2,650,150
1年内償還予定の社債	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	3,876,393	3,594,184
リース債務	31,360	17,603
未払法人税等	248,833	470,512
その他	634,509	985,366
流動負債合計	7,728,059	8,041,037
固定負債		
社債	1,120,000	1,280,000
長期借入金	9,428,080	10,720,998
リース債務	90,478	76,721
役員退職慰労引当金	684,590	653,580
その他	440,616	371,264
固定負債合計	11,763,765	13,102,563
負債合計	19,491,824	21,143,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	497,914	241,714
資本剰余金	361,264	105,064
利益剰余金	5,394,822	4,701,218
自己株式	△1,017	△860
株主資本合計	6,252,983	5,047,136
新株予約権	868	796
純資産合計	6,253,852	5,047,932
負債純資産合計	25,745,677	26,191,533

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	8,259,819	7,922,688
売上原価	5,832,134	5,507,858
売上総利益	2,427,684	2,414,830
販売費及び一般管理費		
役員報酬	176,640	178,725
給料	71,779	52,027
支払手数料	126,731	117,527
その他	352,121	315,584
販売費及び一般管理費合計	727,272	663,864
営業利益	1,700,411	1,750,966
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,482	5,182
受取手数料	62,373	84,341
雑収入	45,752	31,430
営業外収益合計	113,608	120,955
営業外費用		
支払利息	287,339	243,551
雑損失	45,317	90,344
営業外費用合計	332,657	333,895
経常利益	1,481,362	1,538,025
特別利益		
固定資産売却益	860	4,228
貸倒引当金戻入額	670	20
その他	95	—
特別利益合計	1,625	4,248
特別損失		
固定資産売却損	111	4,207
固定資産除却損	64,506	38
ゴルフ会員権売却損	2,705	959
特別損失合計	67,324	5,205
税引前四半期純利益	1,415,663	1,537,068
法人税、住民税及び事業税	591,403	653,617
法人税等調整額	14,322	23,937
法人税等合計	605,726	677,555
四半期純利益	809,937	859,513

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,415,663	1,537,068
減価償却費	972,798	976,472
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	2,610	959
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△398	380
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	31,600	31,010
受取利息及び受取配当金	△5,482	△5,182
支払利息	287,409	243,551
社債発行費償却	—	5,413
株式交付費償却	—	174
有形固定資産売却損益 (△は益)	△748	△20
有形固定資産除却損	64,506	38
売上債権の増減額 (△は増加)	105,602	△414,588
たな卸資産の増減額 (△は増加)	60,270	△6,387
仕入債務の増減額 (△は減少)	△168,640	5,908
未払又は未収消費税等の増減額	157,878	△186,150
その他の資産の増減額 (△は増加)	80,912	49,843
その他の負債の増減額 (△は減少)	△239,460	△40,313
その他	217	72
小計	2,764,738	2,198,248
利息及び配当金の受取額	1,313	1,372
利息の支払額	△283,296	△241,552
法人税等の支払額	△709,191	△867,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,773,564	1,090,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△108,000	△9,018
定期預金の払戻による収入	55,191	100,000
有形固定資産の取得による支出	△1,401,337	△463,966
有形固定資産の売却による収入	6,766	252,323
ゴルフ会員権の取得による支出	△7,000	—
ゴルフ会員権の売却による収入	12,314	2,380
貸付金の回収による収入	14,644	827
差入保証金の差入による支出	△48,263	△16,019
保険積立金の解約による収入	14,180	—
その他	10,323	△13,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,451,180	△146,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,763,336	△42,316
長期借入れによる収入	4,367,000	1,650,150
長期借入金の返済による支出	△2,454,224	△2,660,858
社債の償還による支出	—	△160,000
株式の発行による収入	—	506,115
自己株式の処分による収入	86,039	—
自己株式の取得による支出	△306	△156
配当金の支払額	△282,276	△163,654
設備関係割賦債務の返済による支出	△209,931	△125,708
リース債務の返済による支出	△1,043	△21,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258,078	△1,017,894
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	64,305	△73,854
現金及び現金同等物の期首残高	900,849	1,704,438
現金及び現金同等物の四半期末残高	965,155	1,630,583

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年12月3日付で、公募による新株式発行の払込みを受けました。この結果、当第3四半期会計期間において資本金が256百万円、資本準備金が256百万円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が497百万円、資本準備金が361百万円となっております。

6. その他の情報

該当事項はありません。